

法務省予算監視・効率化チーム第9回定例会合議事概要

- 日 時 平成24年3月28日（水）午後4時～午後5時05分
- 場 所 法務省第一会議室（20階）
- 出席者 法務省予算監視・効率化チームのリーダー（副大臣）、事務局長（官房長）、メンバー及びアドバイザー
- 議 事 ① 予算執行上の重要な決定等についての事前審査及び事後報告
・補助金等の交付決定（2件）
・重要な調達（1件）
・施設整備（1件）
（案件は、別紙のとおり）
② 法務省予算執行計画の改定
③ 平成24年度支出計画の策定
④ その他
- 概 要 議事については、全て承認を得た。アドバイザーからの主な質問・意見等は、以下のとおりである。

予算執行上の重要な決定等についての事前審査及び事後報告

- （人権啓発活動等委託費の交付決定に関し）地方委託事業における自治体計画額と法務省申入額とのバランスであるが、同額のところと申入額が少ないところがあるが、これはなぜか。
- 中央委託事業として、人権啓発教材の作成とあるが、これだけでは人権啓発活動は終わっていない。文部科学省や学校との連携をいかしてもらいたい。
- 人権啓発指導者というのはどのような活動を行うのか。
- （人権啓発活動等補助金の交付決定に関し）運営費全体ではどのくらいの金額なのか。補助金は、全体の何割に相当するのか。
- 財団法人人権教育啓発推進センターに対し、経費の節減に関して指導しているのか。
- 運営費全体に対する補助金の割合は、過去4年間どのように推移しているのか。
- （福島刑務所総合警備監視システムの更新に関し）概算所要額の算出に当たり、複数の業者に見積りを依頼しているか。
- （黒羽刑務所職業訓練棟等新営工事に关し）設計業務については既に入札が終わっているが、契約金額が概算所要額の57%引きと差が出た理由は何か。
- 建物というのは一般の価格競争で十分だと思っており、総合評価にする理由は何か。価格と技術力の評価の割合というのはどのようになっているのか。
- 新営前の建物の面積や何階建てなのか記載していただきたい。

支出計画の策定について

- 支出計画の図表の中に、前年度実績の記載があると、今年度の状況がどのようになっているのか比較しやすい。

その他（瀬戸アドバイザーによる一者応札の解消に関するヒアリング結果の報告）

- 法務省のシステムは、大型案件、部分リプレース、増設が多く、新規参入リスクが高いようである。
- 局部課において、有識者などを含めた体制として、IT能力を高めるための情報公開の方法及び総合評価方法等の内容について再検討する必要があると思われる。
- 適切な調達を実現するためには、複数者による競争入札が必須であり、その方向で産業界を導く必要がある。
- 見積書の徴取を行う段階で、積極的に複数者に声をかけ、既設の業者だけではなく、意識して業界各社と幅広く等しく関係を築く必要がある。

重要な調達等に関する事前審査及び事後報告

(補助金等の交付決定)

- ・ 人権啓発活動等委託費の交付決定
- ・ 人権啓発活動等補助金の交付決定

(重要な調達)

- ・ 福島刑務所総合警備監視システムの更新

(施設整備)

- ・ 黒羽刑務所職業訓練棟等新営工事